

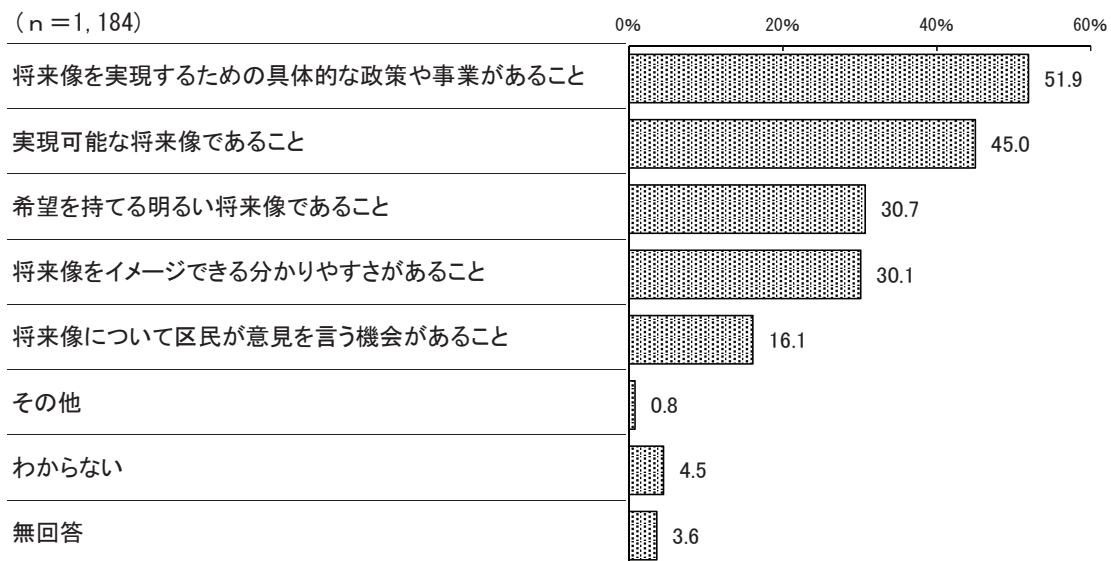
3 グランドデザイン構想（区の将来像）について

（1）目指す将来像を示す上で重要なポイント

◇「将来像を実現するための具体的な政策や事業があること」が5割を超える

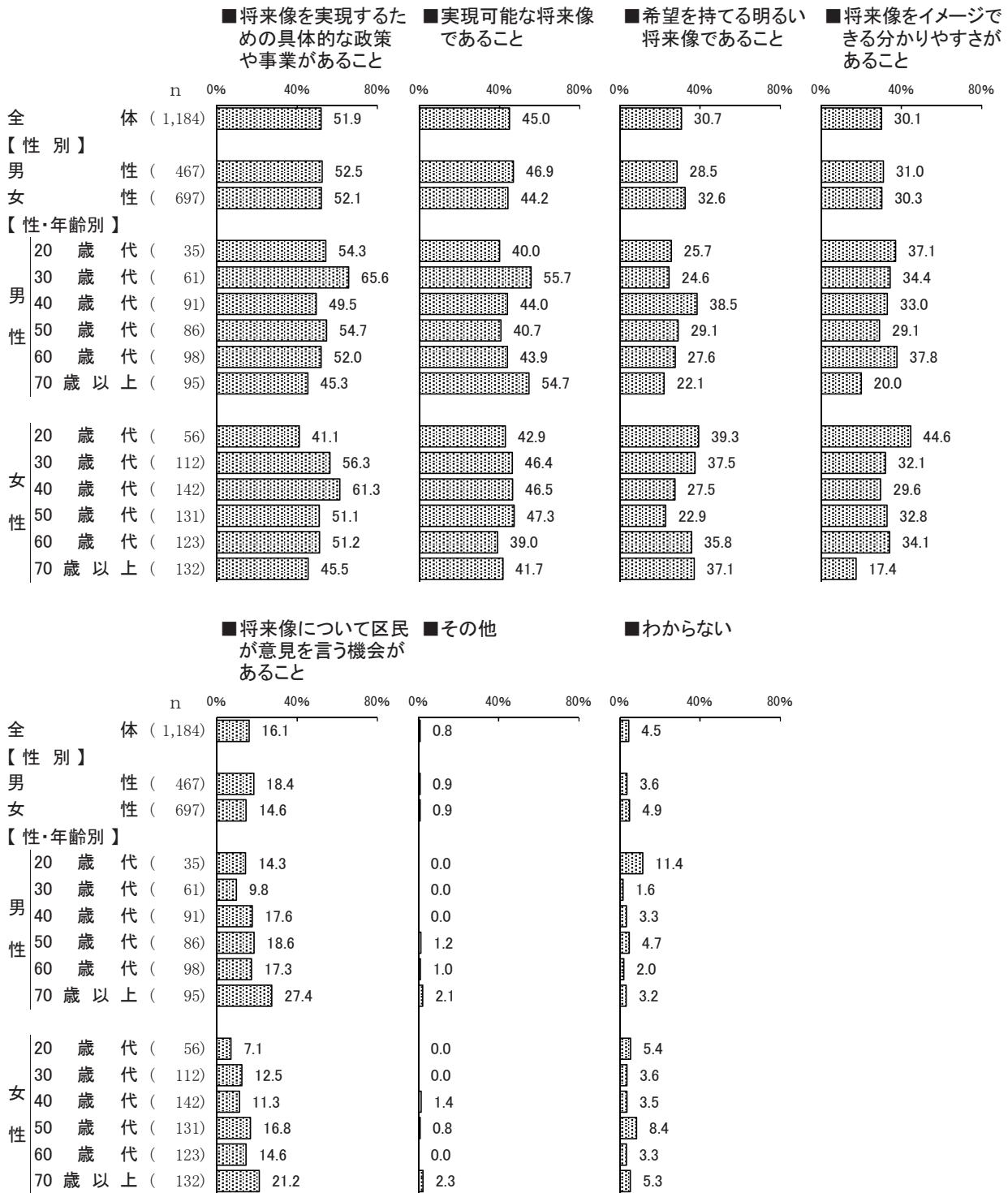
問34 目指す将来像を示す上で、重要なポイントは何だと思えますか。
次の中から2つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

図3-1-1 目指す将来像を示す上で重要なポイント



目指す将来像を示す上で重要なポイントを聞いたところ、「将来像を実現するための具体的な政策や事業があること」（51.9%）が5割を超えて最も多く、次いで「実現可能な将来像であること」（45.0%）、「希望を持てる明るい将来像であること」（30.7%）、「将来像をイメージできる分かりやすさがあること」（30.1%）などの順となっている。（図3-1-1）

図3-1-2 目指す将来像を示す上で重要なポイントー性別／性・年齢別



性別にみると、「希望を持てる明るい将来像であること」は女性の方が4.1ポイント高く3割を超え、「将来像について区民が意見を言う機会があること」は男性の方が3.8ポイント高く2割近くとなっている。

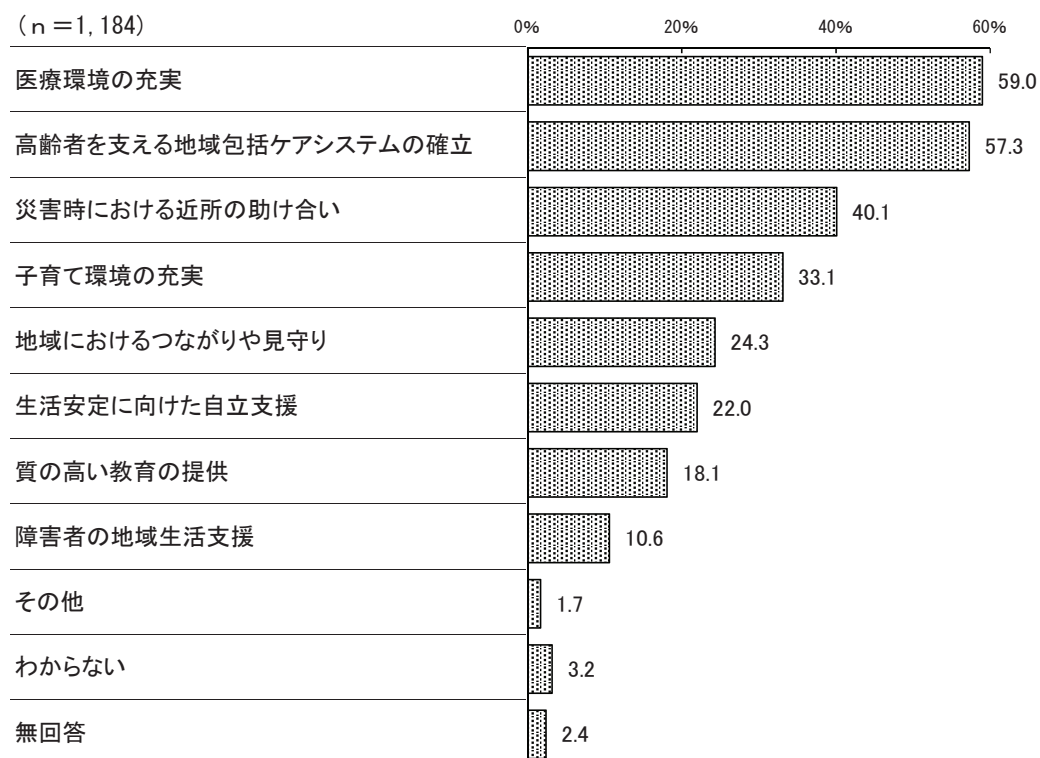
性・年齢別にみると、「将来像を実現するための具体的な政策や事業があること」は男性30歳代で6割台半ば、女性40歳代で6割を超えて多くなっている。「実現可能な将来像であること」は男性30歳代、70歳以上で5割台半ばと多くなっている。「希望を持てる明るい将来像であること」は女性20歳代で約4割、「将来像をイメージできる分かりやすさがあること」は女性20歳代で4割台半ばと多くなっている。(図3-1-2)

(2) 10年後の「暮らしの安心」のイメージ

◇「医療環境の充実」が約6割、「高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立」が6割近く

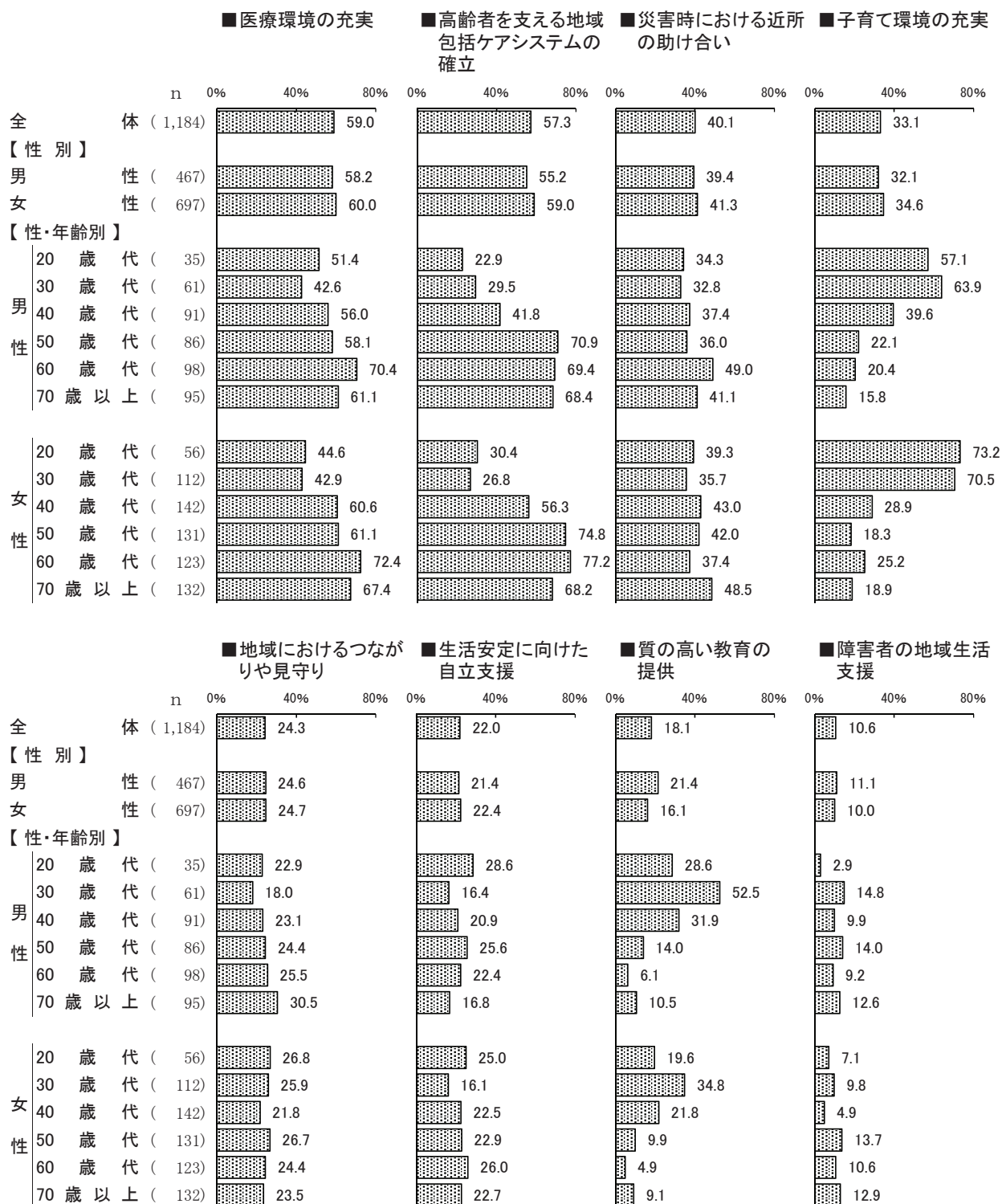
問35 あなたにとって、おおむね10年後の「暮らしの安心」はどのようなイメージですか。
次の中から3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

図3-2-1 10年後の「暮らしの安心」のイメージ



10年後の「暮らしの安心」のイメージを聞いたところ、「医療環境の充実」(59.0%)が約6割と最も多く、次いで「高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立」(57.3%)、「災害時における近所の助け合い」(40.1%)、「子育て環境の充実」(33.1%)、「地域におけるつながりや見守り」(24.3%)などの順となっている。(図3-2-1)

図3-2-2 10年後の「暮らしの安心」のイメージ—性別／性・年齢別



性別にみると、「質の高い教育の提供」は男性の方が5.3ポイント高く2割を超え、「高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立」は女性の方が3.8ポイント高く約6割となっている。

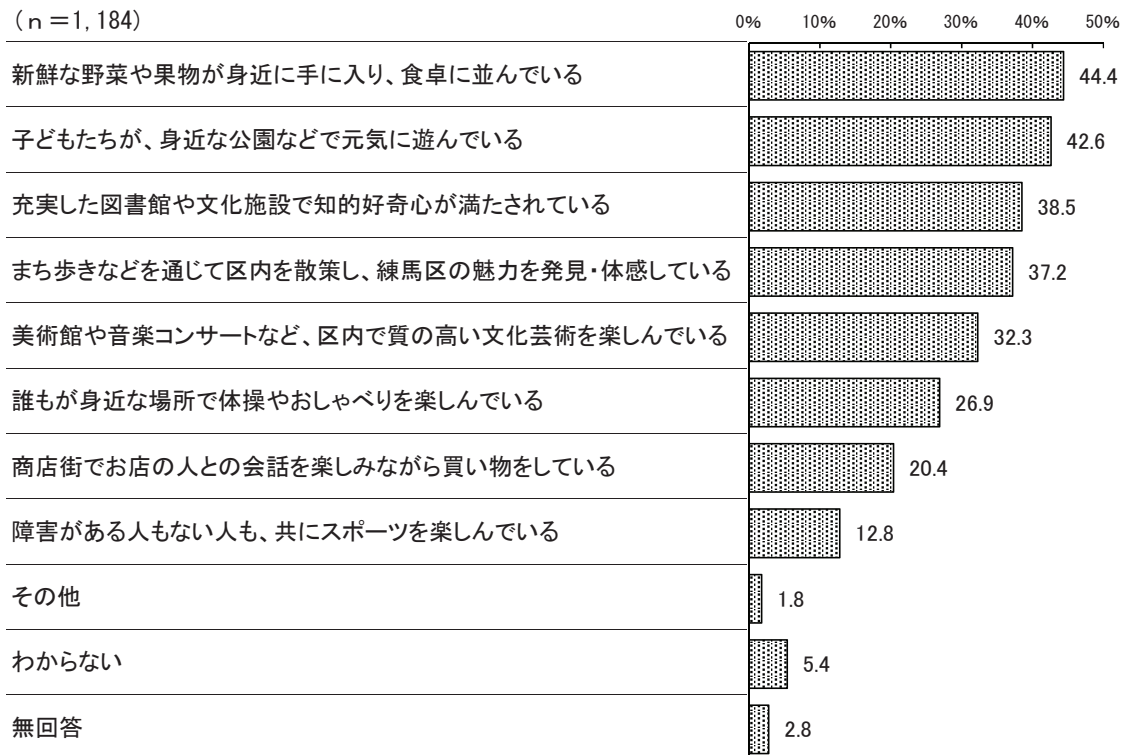
性・年齢別にみると、「医療環境の充実」は女性60歳代、男性70歳以上で7割を超え、女性70歳以上で7割近く、「高齢者を支える地域包括ケアシステムの確立」は男性50歳以上、女性50歳以上で7割近くから8割近くと多くなっている。「子育て環境の充実」は女性20歳代・30歳代で7割を超え、男性30歳代で6割を超え、男性20歳代で6割近く、「質の高い教育の提供」は男性30歳代で5割を超え、女性30歳代で3割台半ばと多くなっている。(図3-2-2)

(3) 10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージ

◇「新鮮な野菜や果物が身近に手に入り、食卓に並んでいる」が4割台半ば

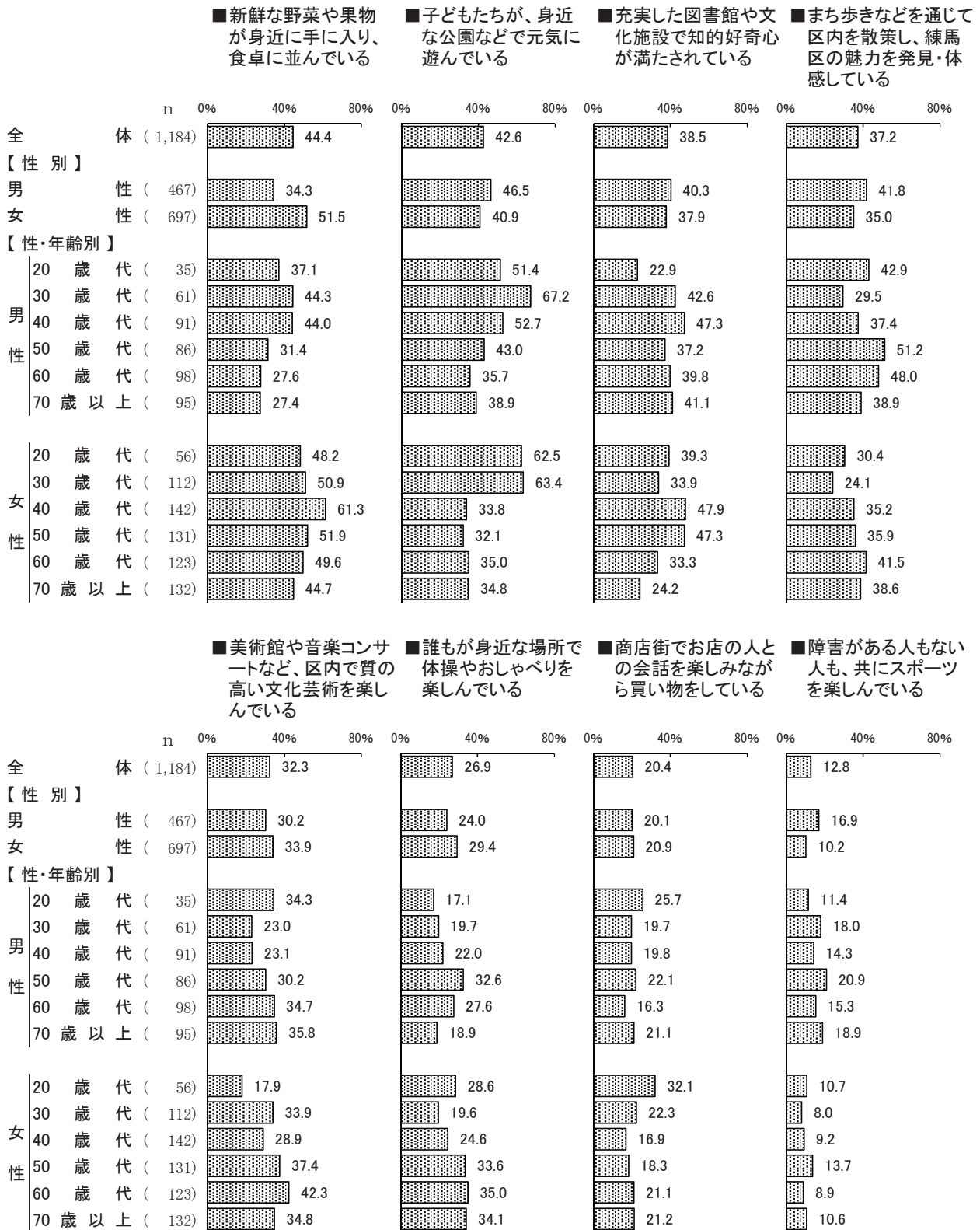
問36 あなたにとって、おおむね10年後の「暮らしの楽しみ」はどのようなイメージですか。
次の中から3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

図3-3-1 10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージ



10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージを聞いたところ、「新鮮な野菜や果物が身近に手に入り、食卓に並んでいる」(44.4%)が4割台半ばと最も多く、次いで「子どもたちが、身近な公園などで元気に遊んでいる」(42.6%)、「充実した図書館や文化施設で知的好奇心が満たされている」(38.5%)、「まち歩きなどを通じて区内を散策し、練馬区の魅力を発見・体感している」(37.2%)などの順となっている。(図3-3-1)

図3-3-2 10年後の「暮らしの楽しみ」のイメージ-性別/性・年齢別



性別にみると、「新鮮な野菜や果物が身近に手に入り、食卓に並んでいる」は女性の方が17.2ポイント高く5割を超え、「まち歩きなどを通じて区内を散策し、練馬区の魅力を発見・体感している」は男性の方が6.8ポイント高く4割を超えている。

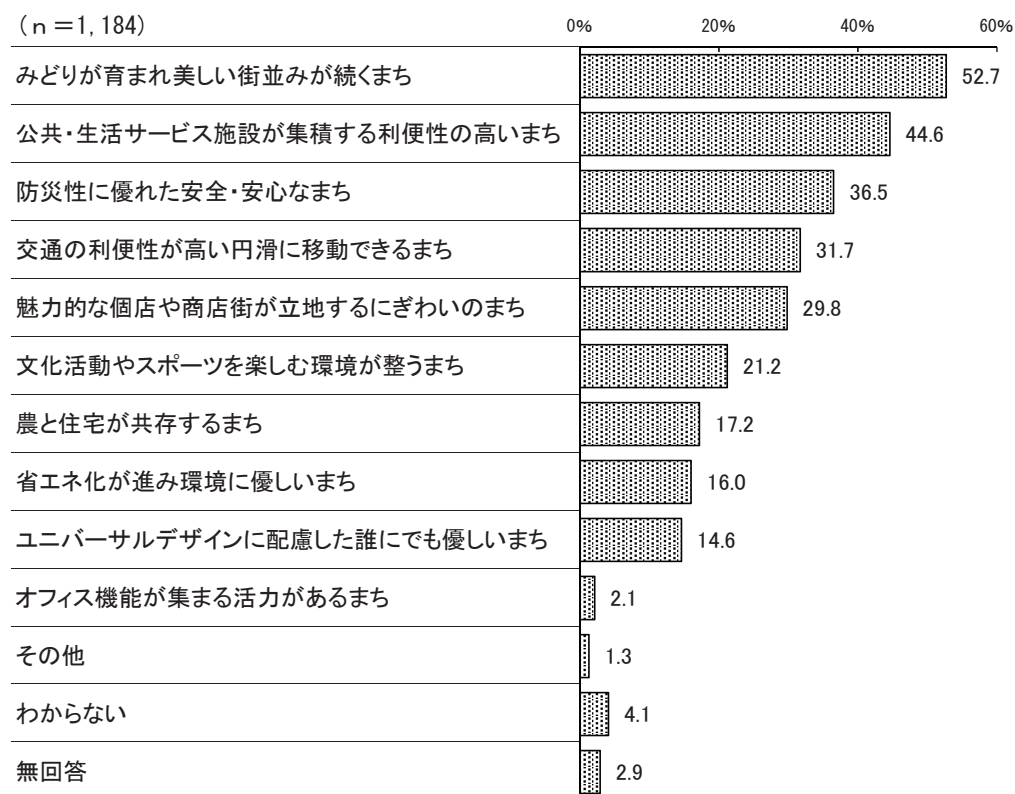
性・年齢別にみると、「新鮮な野菜や果物が身近に手に入り、食卓に並んでいる」は女性40歳代で6割を超えて多くなっている。「子どもたちが、身近な公園などで元気に遊んでいる」は男性30歳代で7割近く、女性20歳代・30歳代で6割を超えて多くなっている。(図3-3-2)

(4) 練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージ

◇「みどりが生まれ美しい街並みが続くまち」が5割を超える

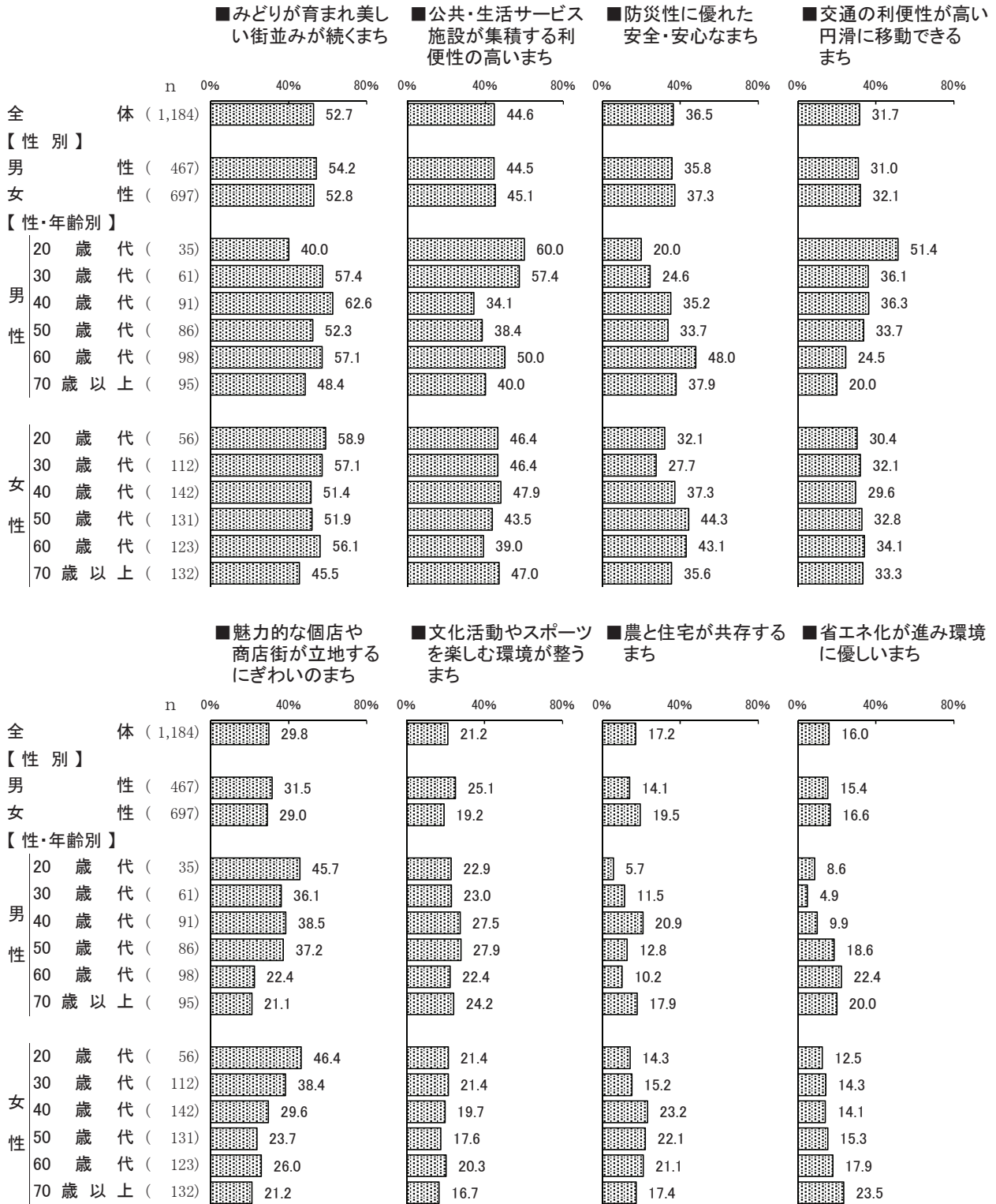
問37 練馬区独立100周年を迎える30年後、あなたが望むまちの姿はどのようなイメージですか。
次の中から3つまで選んで、右の欄に番号をご記入ください。

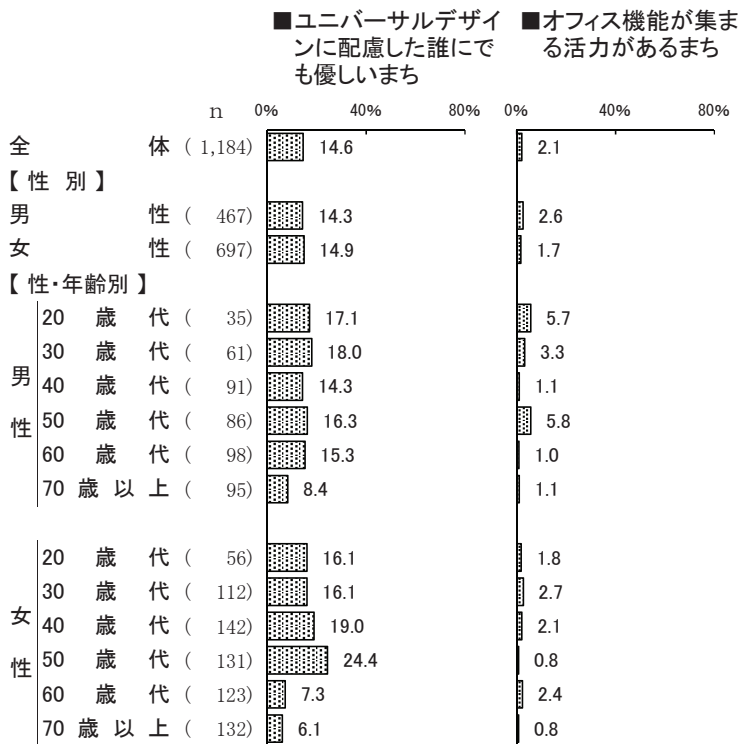
図3-4-1 練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージ



練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージを聞いたところ、「みどりが生まれ美しい街並みが続くまち」(52.7%)が5割を超えて最も多く、次いで「公共・生活サービス施設が集積する利便性の高いまち」(44.6%)、「防災性に優れた安全・安心なまち」(36.5%)、「交通の利便性が高い円滑に移動できるまち」(31.7%)、「魅力的な個店や商店街が立地するにぎわいのまち」(29.8%)などの順となっている。(図3-4-1)

図3-4-2 練馬区独立100周年を迎える30年後の望むまちの姿のイメージ-性別/性・年齢別





性別にみると、「文化活動やスポーツを楽しむ環境が整うまち」は男性の方が5.9ポイント高く2割台半ば、「農と住宅が共存するまち」は女性の方が5.4ポイント高く約2割となっている。

性・年齢別にみると、「みどりが育まれ美しい街並みが続くまち」は男性40歳代で6割を超えて多くなっている。「公共・生活サービス施設が集積する利便性の高いまち」は男性20歳代で6割、男性30歳代で6割近くと多くなっている。「交通の利便性が高い円滑に移動できるまち」は男性は概ね年代が下がるほど割合が多くなる傾向であり、男性20歳代で5割を超えて多くなっている。「魅力的な個店や商店街が立地するにぎわいのまち」は男女ともに概ね年代が下がるほど割合が多くなる傾向であり、男性20歳代、女性20歳代で4割台半ばと多くなっている。(図3-4-2)